# “すこやかなまち”に向けた新たな保健活動

## 1 目的を明確化し成果をだす保健事業の流れ

上越市の医療・介護の実態から疾病の原因疾患を分析

健康課題の整理

計画化

**政策目標**（目的）

**すこやかなまち**
**上越市で安心して暮らすための疾病予防活動の推進**
中長期的に予防可能な疾病を減らし、活力ある地域をめざす
→平成27年度　糖尿病等患者・予備群の25%減少

**予防可能な疾患 慢性化→市民自身による健康管理**

**医療費や介護保険の状況**

- 虚血性心疾患（心筋梗塞・狭心症）／医療費が高額になる疾患
- 脳血管疾患（脳梗塞・脳出血）／長期化する疾患
- 腎疾患（慢性腎不全）／長期化し負担が大きい疾患

**医療費分析**
介護認定の分析
（生活の質を低下させる病気の分析）

- 200万円以上 レセプト分析
- 6ヶ月以上入院 レセプト分析
- 人工透析 レセプト分析
- 介護認定理由

**予防の視点での分析**

**〇家庭訪問等により疾病の経過を市民の暮らし・考え方に学ぶ**
**→予防するには？**

- 虚血性心疾患を起こした経過
- 脳血管疾患を起こした経過
- 人工透析に至った経過

**健診の状況は？**
（なぜ予防できなかったのか）

4
**〇健診データではどうだったか**
**＜見る視点＞**
**①どういう順序で障害が進んでいるのか**
**→異常項目の表れ方を確認する**
**②どの時期に介入が可能だったのか**
**③臓器障害を予防するための検査項目はこれでよかったのか**

**課題整理**

〇それぞれの状況を集約し、健康を阻害する課題を出す（明確化）
**→どこで予防ができなかったのか**

**健診結果からの分析**

〇検査項目や危険因子との関連を分析する
・関連する検査項目を軸に、体への影響を確認する
・関連する検査項目を軸に、危険因子の重なり状況をみる

5
**上越市の特徴がわかる**

市民が健康課題に気付き、理解し予防に向けた取組みを実践する

**予防可能な病気を予防する**

〇計画化の視点で再度、課題整理　・実態を見据えた　各期での健康づくり計画

**上越市 健康計画**（策定・見直し）

## 2

**これからの保健師・栄養士がめざす方向**
①胎児期から高齢期まで、生涯を通じ一貫した予防活動を支援・強化（自己疾病管理の概念）
②科学的根拠に基づく質の高い保健活動の取組み→市民の気づきを大切にした、学習教材の開発
③財政の安定化（介護、福祉、医療の安定及び適正化）

| 担当課 | 業務量 | 職員数 | 能力形成 |
|---|---|---|---|
| **国保年金課**<br>疾病分析 | 毎年5月<br>10万件からの抽出 | **国保年金課・保健師** | **課題別ワーキングチーム**（市役所・各区総合事務所からの代表者（構成）（課題等が明らかになっていく、そのプロセスを大切にする） |
| **高齢者支援課**<br>介護認定理由の分析 | 介護認定理由<br>毎年　11月分調査<br>1，200件<br>・64歳以下の介護認定の理由 | **基幹包括支援センター・保健師** | |
| **生活習慣病予防対策室 健康づくり推進課**<br>訪問し経過や実態を捉える（妊娠時から経過等の課題） | 予防の視点から傾向の把握<br>妊婦から乳幼児・成人等の健診データの分析 | **生活習慣病予防対策室 健康づくり推進課**<br>**・保健師**<br>**・栄養士**<br>**（複数名）**<br>**・事務職** | |
| **生活習慣病予防対策室**<br>重症化の要因を性、年令、地域別等に整理する | 代謝の視点<br>マルチマーカーによる<br>健診データ分析<br>（全市、地域別特徴） | **実　態**<br>**疾病構造の分析**<br>**疾病ガイドライン** | 全専門職 |
| **生活習慣病予防対策室**<br>**予防活動の視点を明確化** | 状況一覧の作成<br>課題の整理 | 3<br>**実践力をつける**<br>**（保健師　50名）（栄養士18名）**<br>**・地区（域）担当制**<br>**・保健師、栄養士等の力量形成**<br>**（市の財政状況・医療費・介護保険等の実態や疾病構造のメカニズムなど高度な技術を磨き、市民へ質の高い保健サービスを提供する）** | |
| **生活習慣病予防対策室**<br>代謝の視点で捉える | 健診結果、訪問から共通する条件を資料作成 | | |

## 6

**実践の計画（地域担当を配置）**

| | | 発育・成長期 | | | 疾病管理 | | 介護予防 | 福祉施策 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 胎児期 | 乳児期 | 幼児期 | 少年期 | 青年期（18歳～） | 壮年期 | 高齢期（前期高齢者）（後期高齢者） | ・精神<br>・障害<br>・認知症 |
| | | 母子の健康づくり | | | 学童・生徒健康づくり | 成人の健康づくり | | 高齢者の健康づくり | |
| | | 母子保健法 | | | 学校保健法 | 健康増進法 | | | |
| 生活習慣 | 生活リズム | 健康学習　保育園・幼稚園、学校での健康学習 | | | | 生活習慣病予防の健康学習 | | 重症化予防の健康学習 | 福祉事業 |
| | 食の選択 | ・発育・発達を支える<br>・気づきを大切にした健康学習活動 | | | | | | | |
| | 身体活動 | | | | | 7 生涯にわたる一貫した保健事業の実施 | | | |
| 身体の状況を見る　健診 | 発育・発達 | 乳幼児健診 | | | 学校健診 | | | | |
| | 身体の状況 | | | | | 特定健診　結果説明会　特定保健指導 | | | |
| 生活習慣病予防 | 肥満 | | | | 訪問・個人指導 | | | | |
| | 高脂血症 | | | | | | | | |
| | 耐糖能異常 | ・発病しやすい人の健康学習 | | | 未受診者対策 | | | | |
| | 血圧 | | | | ・地域や職場等での健康学習会・講座の開催<br>・生活習慣の改善により健診データの安定化 | | | | |
| | 肝機能 | | | | | | | | |
| | 尿酸 | | | | | | | | |
| 疾病管理　重症化予防 | 心臓 | ・合併症の進展<br>悪化への対応 | | | 個人への関わり<br>（データのコントロール・食事内容など） | | | | |
| | 脳 | ・医療機関との連携 | | | | 臓器障害予防（脳卒中・慢性腎臓病（CKD））） | | | |
| | 腎臓 | | | | | 介護予防対策（脳卒中・認知症・寝たきり予防） | | | |